

# 令和4年度事業報告書

公益財団法人 日本美術院

## I 事業の状況

### 1. 美術に関する調査研究、管理保存及び活用して広く一般公衆の用に供する事業

#### (1) 美術の研究及び調査事業

令和4年度は、同人による日本画の研究発表として第77回春の院展に35名及び再興第107回院展に32名の作品を展示した。

#### (2) 研究所並びに資料等の管理保存及び活用、並びに公開と美術に関する図書の刊行事業

① 令和4年度は、再興第107回院展、第78回春の院展の表紙絵の寄附を受け入れた。

② 蔵書目録については、令和4年度の追加図書の基本データの入力を終了した。

③ 画像データの作成 再興第107回院展297点、第77回春の院展340点

④ 画像データの貸出 140件(314点)

⑤ 所蔵資料の公開及び貸出

◇ 令和4年9月22日～12月12日 茨城県近代美術館天心記念五浦美術館

企画展「再興院展の立役者 齋藤隆三」

岡倉天心「支那旅行日誌」明治26年、前田青邨「下村観山居士像」昭和5年 計2点

◇ 令和4年9月28日～12月14日 名都美術館

特別展「横山大観一心によりて筆生ずー」

横山大観「ある日の太平洋」習作 落款あり 計1点

⑥ 図書の寄贈

第77回春の院展及び再興第107回院展全作品集を全国の日本画に関係する国公立美術館・大学図書館(103か所)に寄贈した。

#### (3) 美術に関する研究会、講演会等の開催事業

① 研究会参加者の作品に対する同人の批評・指導を行ったが、そのうち本院を会場として開催したものは、次のとおりである。

令和4年： 5月19日(木)23名、6月 3日(金)7名、6月 4日(土)35名、6月 5日(日)25名  
6月19日(日)14名、6月25日(土)40名、6月28日(火)AM 6名、6月28日(火)PM 20名  
7月17日(日)27名、8月 2日(火) 9名 8月 4日(木)14名、8月 8日(月) 6名  
9月25日(日)21名、11月30日(水)10名、12月20日(火)10名

令和5年： 1月10日(火)20名、1月15日(日)37名、1月17日(火)12名、2月15日(水)19名  
2月19日(日)32名、2月22日(水)24名、2月25日(土)11名、2月26日(日)13名

今年度合計(23回：435名) 前年度(17回：288名)

② 巡回展における講演会及び講習会等

○名古屋特別講演： 令和4年11月26日(土) つなぐ、にっぽん美術 聴講者181名

○名古屋体験講座： 令和4年12月 3日(土) さわってみよう日本画材 体験者17名

○名古屋鑑賞体験講座： 令和4年12月 4日(日) つなぐ、にっぽん美術 作品鑑賞ツアー 30名

○熊本講習会： 令和5年1月31日(火) 50名(受講者20名、聴講者30名)

今年度合計(4回：278名) 前年度(1回：50名)

③ 地域連携教育プログラム

【計14件】

- ◇ 令和4年 7月 7日(木) 台東区学びのキャンパスプランニング 千束小学校(参加者30名)「絵画指導」
- ◇ 令和4年 9月14日(水) 「岩絵の具と膠で日本画を描こう」弥富市、弥富北中学校(参加者259名)「絵画指導」
- ◇ 令和4年 9月15日(木) 「岩絵の具と膠で日本画を描こう」弥富市、弥富北中学校(参加者259名)「絵画指導」
- ◇ 令和4年10月 6日(木) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、二万小学校(参加者18名)「絵画指導」
- ◇ 令和4年10月 7日(金) 「岩絵の具と膠で日本画を描こう」名古屋市、伊吹山中学校(参加者28名)「絵画指導」
- ◇ 令和4年10月11日(火) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、第五福田小学校(参加者30名)「絵画指導」

- ◇令和4年10月18日(火) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、連島小学校特別支援学級(参加者35名)「絵画指導」
- ◇令和4年10月19日(水) 台東区教員向けワークショップ (参加者13名)「絵画指導」
- ◇令和4年10月31日(月) 台東区学びのキャンパスプランニング 大正小学校(参加者65名)「絵画指導」
- ◇令和4年11月25日(金) 台東区学びのキャンパスプランニング 蔵前小学校(参加者106名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月 9日(金) ワークショップ 横浜市、聖ヨゼフ学園(参加者63名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月14日(水) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、倉敷小学校(参加者52名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月15日(木) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、倉敷小学校(参加者53名)「絵画指導」
- ◇令和4年12月21日(水) 芸術家派遣事業「日本画ワークショップ」倉敷市、倉敷小学校(参加者16名)「絵画指導」

## 2. 全国に展示する日本画の公募展覧会の開催及び日本美術院に關係する作品を国内外へ紹介し、美術の交流を図る事業

### (1) 第77回春の院展

令和4年3月23日(水)から4月4日(月)まで日本橋三越において開催し、引続き巡回展を名古屋、京都、秋田、札幌、福井、大阪、山形、倉敷、島根、福岡、新潟、広島、栃木、選抜(東京)の15会場で延157日間開催した。

総入場者数は74,331名(前回比7,966名増)であった。

詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した作品は、次のとおりである。

応募作品点数	643点 (前回 701点)
応募人員	642名 ( " 693名)
入選作品数	305点 ( " 309点)
内 無鑑査	16点 ( " 15点)
初入選	31点 ( " 33点)
同人出品点数	35点 ( " 33点)
出品総数	340点 ( " 342点)

巡回展には、同人作品35点、受賞作品17点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおり。

#### ◇春季展賞(郁夫賞)

『冬の心臓』 守 み どり 以上1名

#### ◇春季展賞

『虎落笛』 須 田 健 文 以上1名

#### ◇外務大臣賞

『マリーナの午後』 荒 木 恵 信 以上1名

#### ◇奨 励 賞

『マリーナの午後』	荒 木 恵 信	『晩秋』	大河原 秀 樹
『節季』	山 梨 千 果 子	『映』	柏 谷 明 美
『月読』	阪 野 智 啓	『帳』	森 友 紀 恵
『井之頭(6)一阿弥陀来迎図』	樋 田 礼 子	『かせきの博物館』	竹 内 榮 次
『葉漣』	松 村 公 太	『風咲く夜』	永 吉 秀 司
『Reflection』	山 浦 め ぐ み	『昇』	岩 波 昭 彦
『薄日』	小 針 あ す か	『小春日和』	吉 田 圭 一 郎
『シニフィアンとシニフィエ』	澁 澤 星		以上15名

授賞式は、3月23日(水)午後3時から日本橋三越本店7階特別食堂「不二の間」において、外務省在外公館課長南慎二氏他外務省関係者の臨席を得、田淵理事長より春季展賞及び奨励賞を、外務省在外公館課長南慎二氏より外務大臣賞を授与した。

記念レセプションは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

第77回春の院展の実績は次のとおりであり、無事終了した。

区分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
東京展	令和4年 3月23日(水)～4月 4日(月)	13 日	340 点	14,397 名	1,107 名	三越日本橋本店
名古屋展	" 4月 9日(土)～4月17日(日)	9 日	126 点	11,359 名	1,262 名	名古屋松坂屋美術館
京都展	" 4月20日(水)～4月25日(月)	6 日	120 点	5,795 名	965 名	高島屋京都店
秋田展	" 4月29日(金・祝)～5月 8日(日)	10 日	132 点	3,847 名	384 名	秋田県総合生活文化会館
札幌展	" 5月11日(水)～5月16日(月)	6 日	135 点	2,022 名	337 名	札幌三越
福井展	" 5月22日(日)～5月30日(月)	9 日	97 点	5,144 名	571 名	西武福井店
大阪展	" 6月 8日(水)～6月13日(月)	6 日	120 点	2,028 名	338 名	心齋橋PARCO
山形展	" 6月17日(金)～6月26日(日)	10 日	97 点	1,759 名	175 名	天童市美術館
倉敷展	" 7月 2日(土)～7月10日(日)	9 日	104 点	2,266 名	251 名	倉敷市立美術館

島根展	" 7月16日(土)～7月31日(日)	16日	145点	9,920名	820名	足立美術館
福岡展	" 8月3日(水)～8月8日(月)	6日	100点	886名	147名	福岡三越
新潟展	" 9月21日(水)～9月26日(月)	6日	130点	3,995名	665名	新潟伊勢丹
広島展	" 9月30日(金)～10月10日(月・祝)	11日	180点	4,810名	437名	そごう広島店
栃木展	" 10月15日(土)～11月20日(日)	29日	90点	4,031名	134名	さくら市ミュージアム
選抜展	令和5年1月20日(金)～1月29日(日)	10日	110点	2,072名	207名	西武池袋本店
計		156日	延2,026点	74,331名	476名	15会場
前回計	令和3年3月24日(水)～令和4年1月30日(日)	158日	延2,091点	66,365名	420名	15会場

(2)再興第106回日本美術院展覧会(院展)

令和3年9月1日(水)から開催した再興第106回院展は、令和4年2月1日(火)開催の広島展までの詳細について、令和3年度事業報告書に報告済みであるが、残り3会場であった横浜展、北九州展、島根(西)展については本年度となるためここに記載する。

区分	会期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会場
横浜展	令和4年3月4日(金)～4月10日(日)	38日	84点	9,243名	243名	そごう美術館
北九州展	" 4月20日(水)～5月15日(日)	24日	67点	4,700名	204名	北九州市立美術館
島根(西)展	" 5月21日(土)～6月12日(日)	23日	66点	3,422名	148名	今井美術館

(3)再興第107回日本美術院展覧会(院展)

令和4年9月1日(木)から9月17日(土)まで17日間、東京都美術館において開催し、引続き巡回展を大阪、島根(東)、名古屋、京都、岡山、広島、富山の順に8会場で延103日間、入場者総数91,565名を数えた。なお、横浜、島根(西)、茨城五浦展を残している。詳細は後記。

公募に応じた作品点数及び鑑査の結果入選した点数は、次のとおりである。

応募作品点数	431点 (前回 427点)
応募人員	430名 ( " 425名)
入選作品数	265点 ( " 265点)
内無鑑査	18点 ( " 16点)
初入選	28点 ( " 23点)
同人出品点数	32点 ( " 32点)
出品総数	297点 ( " 297点)

巡回展には、同人作品32点、受賞作品15点を中心に各巡回先の在住者及び出身者の作品、その他佳作を加え、各会場のスペースに合わせて展示した。

本展における受賞者は、次のとおりである。

- ◇内閣総理大臣賞 『霧の柳生道』 同人 大野逸男
- ◇文部科学大臣賞 『街の標』 同人 前田力
- ◇東京都知事賞 『音楽室は根の国』 川崎麻央
- ◇日本美術院賞(大観賞)
  - 『音楽室は根の国』 川崎麻央
  - 『玄鳥至』 守みどり 以上2名

◇奨励賞

『羊飼い』	三浦愛子	『高嶺の薫風』	加藤厚
『星鏡』	村上里沙	『鳥越の古道』	谷善徳
『市場』	松岡歩	『井之頭(7)一阿弥陀聖衆来迎』	樋田礼子
『reflection city』	吉田侑加	『線とトンネル』	岩谷晃太
『夜語り』	鈴木恵麻	『Prima vera』	山崎佳代
『日出ずる国へ』	仲裕行	『お祈りに来た蝶々』	下田博子
『華燭の花』	鈴木ちか子		以上13名

授賞式は、9月1日(木)午後3時から上野精養軒において、来賓として文化庁都倉俊一長官をはじめ、奨励賞賞金用にご寄附いただいている(株)三越伊勢丹細谷敏幸社長、(株)高島屋社長村田善郎、(株)大丸松坂屋澤田太郎社長、そごう・西武取締役執行役員久保田俊樹様他9名を迎え開催した。

授賞は、内閣総理大臣賞及び文部科学大臣賞を都倉俊一文化庁長官より、日本美術院賞及び奨励賞を田淵理事長より授与した。

次いで、奨学金及び推挙状の授与を田淵理事長より以下のとおり授与した。

記念レセプションは、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

◇第41回日本美術院奨学金の授与(各50万円) 加藤厚、須田健文

◇推挙状の授与(令和4年9月1日)

①特待推挙

荒木 恵信(石 川) 鬼塚 堅太(茨 城) 芝 康 弘(愛 知)  
徳永 昇(長 野) 廣瀬 貴洋(神奈川)

以上5名

②院友推挙

芦田 竜太郎(広 島) 安栄 容子(北海道) 顧 洛水(大阪)  
小松原彩瑞(神奈川) 島田 滋(千 葉) 鈴木 一枝(茨 城)  
鈴木 さよ子(神奈川) 中井 一郎(愛 知) 永田 恭子(愛 知)  
伴 鈴子(京 都) 宮澤 孝恵(広 島) 森 通(岐 阜)  
楊 諭淇(京 都)

以上13名

③研究会員推挙

<令和3年10月22日付>

井上 雄介(愛 知) 新藤 美希(石 川) 中本 雅(兵 庫)  
山中 翔(大 阪) 柳澤 宏畝(神奈川) 石野 駿平(石 川)  
王 夢(京 都) 豊野 芳子(群 馬)

以上8名

<令和4年2月18日付>

長岡 明子(広 島) 田邊 沢子(東 京)

以上2名

<令和4年6月15日付>

荒井 順子(千 葉) 山本 政彰(宮 城) 長田 不岐郎(長 崎)  
末岡 瑞貴(京 都) 高田 久恵(大 阪) 高田 咲恵(大 阪)  
田中 美智子(愛 知) 加藤 明美(愛 知) 岡野 規子(東 京)  
安部 温(群 馬) 遠藤 沙織(栃 木) 長谷川美恵(神奈川)  
平片 仁也(東 京) 大野 裕美(埼 玉) 村松 航汰(広 島)  
鈴木 淑子(埼 玉) 木村 光輝(山 形) 築井 渚(千 葉)

以上18名

再興第107回院展各会場の実績は、次のとおりである。ただし、富山展までの8会場であり、残り3会場の横浜展、島根(西)展、茨城五浦展は令和5年度になる。

区 分	会 期	開館日数	出品点数	入場者総数	1日平均入場者数	会 場
東京展	令和4年 9月 1日(木)～ 9月17日(土)	16日	297点	16,006名	1,000名	東京都美術館
大阪展	" 9月28日(水)～10月 3日(月)	6日	64点	2,389名	398名	阪急うめだ本店
島根(東)展	" 10月 8日(土)～10月30日(日)	23日	90点	31,085名	1,351名	足立美術館
名古屋展	" 11月26日(土)～12月 4日(日)	9日	112点	12,136名	1,348名	名古屋松坂屋美術館
京都展	" 12月13日(火)～12月18日(日)	6日	87点	1,964名	327名	京都市京セラ美術館
岡山展	令和5年 1月 2日(月・祝)～ 1月15日(日)	14日	58点	10,888名	777名	岡山市・天満屋
広島展	" 1月19日(木)～ 1月31日(火)	13日	86点	14,102名	1,084名	広島市・福屋
富山展	" 2月 4日(土)～ 2月19日(日)	16日	66点	2,995名	187名	富山県民会館美術館
計		103日	延860点	91,565名	888名	8会場
前回計	令和3年 9月 1日(水)～令和4年 2月1日(火)	121日	延825点	104,446名	525名	7会場

(4)日本画を手元において観て楽しむ文化の普及を図るため、図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの販売。

令和4年度における図録、絵葉書、一筆箋、クリアファイルの売り上げ部数は、次のとおりである。

第77回春の院展図録 : 2,609部

再興第107回院展図録 : 2,045部

絵葉書 : 34,841枚 一筆箋 : 458部 クリアファイル : 1,778部

3. 日本画の分野における若手芸術家の育成活動に対する助成事業

第41回日本美術院奨学金は、選考委員会において加藤厚氏及び須田健文氏を選考し理事会で決定した。

なお、授賞式は令和4年9月1日(木)午後3時より上野精養軒において行われ、田淵理事長から授与した。

## Ⅱ 処務の概要

### 1. 役員等に関する事項

令和5年3月31日現在

	氏名	就任年月日	手当	現職等	担当職務
代表理事	田 淵 俊 夫	H28.6.10	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	業務の総理 法人代表
〃	那波多目功一	H28.8.21	無	日本芸術院会員 日本美術院同人	業務の総理 法人代表
業務執行理事	手塚雄二	H28.8.21	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	日常一般業務
理事	下田義寛	H26.6.6	無	倉敷芸術科学大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	梅原幸雄	R3.6.18	無	東京芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
〃	西田俊英	H28.12.7	無	武蔵野美術大学教授 日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	松村公嗣	H24.5.25	無	愛知県立芸術大学名誉教授 日本美術院同人	
監事	西崎誠司	R4.6.15	無	東京芸術大学教授 日本美術院同人	
〃	天野清一	R4.6.15	有	税理士	
評議員	真室佳武	H23.4.1	有	鎌倉市鏑木清方記念美術館長	
〃	佐藤道信	H23.4.1	有	東京芸術大学教授	
〃	古田亮	R4.6.15	有	東京芸術大学教授	
〃	伊藤欣哉	H24.12.4	無	日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	福王寺一彦	H29.4.12	無	日本芸術院会員、日本美術院同人	
〃	大矢紀	H29.4.12	無	日本美術院同人	
〃	倉島重友	R3.6.18	無	広島市立大学名誉教授、 日本美術院同人	

※氏名は本名を記す。

### 2. 職員に関する事項

令和5年3月31日現在

職名	氏名	就任年月日	担当事務	備考
事務局長	山中和則	令和4年7月1日	事務の総括	令和4年10月1日事務局長
参 与	板屋一弘	令和2年7月1日	事務の総括補助	
資料室長	和田真理子	平成12年1月1日	資料の管理、庶務事務	
事業課長	吉村泉里	平成29年5月16日	院展の業務、経理事務	令和3年7月1日事業課長
総務部員	鈴木亮太	令和4年4月1日	経理事務	

### 3. 役員会等に関する事項

#### (1) 理事会

①令和4年5月20日 ○令和4年度 第1回理事会

開催場所：日本美術院

- 議事事項：
- 令和3年度事業報告書及び決算書について
  - 第41回日本美術院奨学金受給者の決定について
  - 理事候補者の推薦及び評議員補欠候補者の推薦について
  - 評議員選定委員(外部委員)の選任について

5. 運営会議の検討事項について
6. 所蔵品の貸し出しについて
7. 賞候補審査方法について
8. 事務局長の人事について
9. その他

報告事項：1. 第77回春の院展東京展の終了報告について  
2. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について  
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

②令和4年6月15日 ○令和4年度 第2回理事会

開催場所：1. 理事長、代表理事及び業務執行理事の選出について  
2. 運営会議委員(理事)の選出について  
3. 天心例祭について  
4. 再興院展110回記念展(仮称)について  
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

③令和4年8月17日 ○令和4年度 第3回理事会

開催場所：東京都美術館地下3階審査室  
議事事項：1. 内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞の選考について  
2. 東京都知事賞、日本美術院賞、奨励賞の選考について  
3. 入選・受賞等による招待、特待、院友の推挙について  
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席1名

④令和4年10月21日 ○令和4年度 第4回理事会

開催場所：日本美術院  
議事事項：1. 新同人の推挙について  
2. 第78回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望について  
3. 北九州市立美術館における再興院展開催(案)について  
4. 再興第108回及び第109回以降の院展(広島展)における会期について  
5. 第78回春の院展巡回展(松山展)開催の申し入れについて(案)  
6. 基本財産の組み換えについて  
7. 再興院展第110回記念展に向けた検討委員について  
8. 再興院展日本美術院賞(大観賞)の決定について  
報告事項：1. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について  
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

⑤令和5年2月17日 ○令和4年度 第5回理事会

開催場所：日本美術院  
議事事項：1. 令和5年度事業計画及び同予算書について  
2. 公益財団法人日本美術院諸規則の改正について  
3. 図書等物販費の改定について  
4. 令和5年度同人新作品展の開催計画について  
5. 運営会議の検討事項について  
6. 再興院展・大阪展(阪急うめだ本店)の開催中止について  
7. 定時評議員会(令和4年度)の開催について  
報告事項：1. 代表理事、業務執行理事の職務の状況報告について  
2. 再興第110回院展記念展(仮称)開催に向けて  
3. 水野美術館、高崎市タワー美術館への作品貸し出しについて  
4. 著作権譲渡契約(菊川多賀、菊川三織子作品の全著作権)の完了について  
出席等：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名、監事出席2名

(2)評議員会

①令和4年6月15日 ○令和4年度 第1回評議員会

開催場所：日本美術院  
議事事項：1. 議事録署名人の選出について  
2. 令和3年度事業報告書及び決算書について  
3. 理事及び監事の選任について  
4. 定款の一部改正及び役員等報酬規程の制定について

出席等：決議に必要な出席評議員の数4名、出席7名、監事出席2名、理事出席1名

### (3) 同人会

#### ① 令和4年6月15日 ○令和4年度 第1回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 研究会員の詮衡について  
2. 令和4年度第2回同人新作品展について  
3. 再興第107回院展について

報告事項：1. 令和3年度事業報告書及び決算書について  
2. 第41回日本美術院奨学金受給者について  
3. 理事、監事及び評議員の選任について  
4. 第77回春の院展東京展の終了報告について  
5. 運営会議の検討事項について  
6. 同人、諸員にかかる展覧会図録等の資料寄贈について  
7. 巡回展における同人の同行に関する意向調査について  
8. その他

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席35名、欠席2名

#### ② 令和4年8月16日 ○令和4年度 第2回同人会

開催場所：東京都美術館

議事事項：1. 再興第107回院展について  
2. 8月17日以降の日程について

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席27名、欠席10名

#### ③ 令和4年10月21日 ○令和4年度 第3回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 新同人の推挙について  
2. 研究会員の詮衡について  
3. 第78回春の院展について  
4. 再興院展第110回記念展に向けた検討委員について  
5. 総理大臣官邸への貸し出しについて  
5. 令和5年1月発行の諸員名簿について

報告事項：1. 令和4年度第2回同人新作品展の開催について  
2. 第78回春の院展東京展の(株)三越伊勢丹からの要望事項(案)について  
3. 北九州市立美術館における再興院展開催(案)について  
4. 再興第108回及び第109回以降の院展(広島展)における会期について  
5. 第78回春の院展(松山展)の開催の申し入れについて  
6. 再興第106回院展(全体)入場者調査表について  
7. 再興第106回院展(全体)印刷物売上表について  
8. 再興第107回院展(東京展)入場者調査表について  
9. 再興第107回院展(東京展)印刷物売上表について  
10. その他

出席等：決議に必要な出席同人の数19名、出席28名、欠席9名

#### ④ 令和5年2月17日 ○令和4年度 第4回同人会

開催場所：日本美術院

議事事項：1. 第42回奨学金受賞者の推薦について  
2. 研究会員の詮衡について  
3. 第78回春の院展について  
4. 再興第108回院展について  
5. 令和5年度同人新作品展示会の開催要領について  
6. その他

報告事項：1. 令和5年度事業計画及び同予算書について  
2. 公益財団法人日本美術院諸規則の改定について  
3. 図書等物販費の改定について  
4. 再興院展・大阪展(阪急うめだ本店)の開催中止について  
5. 運営会議の検討事項について  
6. 水野美術館、高崎市タワー美術館への作品貸し出しについて

7. 各種委員の改選について
8. 第77回春の院展入場者調査表について
9. 第77回春の院展印刷物売上実績表について
10. その他

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、出席30名、欠席7名

⑤令和5年3月7日 ○令和4年度 第5回同人会

開催場所： 日本美術院

- 議事事項： 1. 再興第108回院展募集要項について  
2. 第78回春の院展について

出席等： 決議に必要な出席同人の数19名、出席35名、欠席2名

4. 許可、認可及び承認に関する事項 「該当なし」

5. 契約に関する事項 「該当なし」

6. 寄附に関する事項

(1) 寄附金支出

寄附の目的	寄附の相手方	金額	備考
国華清話会に対する助成	国華清話会	500,000円	日本・東洋の古美術研究誌「国華」は明治22年、岡倉天心先生らが創刊したもので、その学術的重要性は世界的な評価を得ている。この「国華」の続刊に資するため。

(2) 寄附金受入

寄附の目的	寄附者	金額	備考
事業運営経費	日本美術院換価委員会	29,683,983円	調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。
再興第107回院展奨励賞の副賞用	(株)三越伊勢丹	500,000円	再興院展奨励賞の副賞として受賞者に交付している。
	(株)高島屋	500,000円	
	(株)大丸松坂屋	500,000円	
	(株)そごう西武	500,000円	
	合計	31,683,983円	

7. 賛助会員会費に関する事項

賛助会員会費	法人(89社)	11,100,000円	調査研究事業、展覧会事業、若手作家への助成事業及び本院の運営に資する。
	個人(734名)	7,540,000円	
	合計	18,640,000円	

8. 主務官庁指示に関する事項 「該当なし」

9. その他の重要事項

(1) 令和4年度第1回同人新作品展の開催

令和4年5月23日から5月29日の7日間、同人の新作(6号)35点を日本美術院1階大広間において展示した。

入場者は118名で、前回3年度第2回より33名の減であった。

(2) 令和4年度第2回同人新作品展の開催

令和4年11月7日から11月13日の7日間、同人の新作(6号)34点を日本美術院1階大広間において展示した。

入場者は129名で、前回第1回より11名の増であった。

(3) 天心霊社の例祭

令和4年9月2日午前10時より諏訪神社宮司をお迎えし、例祭を執り行った。諸員多数が参加した。